

2013年省エネ塗料シェア (4年連続シェアトップ)

掲載記事抜粋

コートシャネツMO」も上市している。

ガイナ、健康への貢献にアプローチ

日進産業

断熱塗材「ガイナ」の勢いが止まらない。マス媒体での露出が多いことから一般での認知が高いことに加えて、住宅塗り替え分野で同品を精力的に扱う施工店が全国的に広がっており、ボトム層が厚くなっている。

もう一つは内装分野で急速に広がってきているのがガイナならではの動向。「室内の壁にガイナを塗ることで、冷暖房効率が格段に高まること、結露の抑制、防音性向上など効果を明確に実感できるので内装リフォームの切り札として、ハウスメーカーやリフォーム会社がスペックするケースが急増している。12月～2月までの冬季3カ月は前年比150%で推移。内装での販売増を物語っている」(担当者)と説明する。

内装分野では更に、需要拡大につながる強力なデータが整いつつある。室内壁に塗ったガイナに含まれる特定のセラミックが発する遠赤外線が人体に有効に働き人の体を健康にするというデータだ。以前から共同研究を行っていた筑波大学の田神一美教授(スポーツ衛生学)と昨年、共同で特許を出願した。「これまでの家づくりは化学物質過敏症対策など、安全な環境づくりがテーマであったが、ガイナが塗られた空間に住むことで健康になるというより能動的な効果の領域に踏み出した」と意義を語る。冷暖房効率、結露抑制、防音などに加え健康への貢献が証明されれば新たなステージが広がる。

※2014.03.19

ペイント&コーティングジャーナル紙発表

